**日本色彩学会研究会大会　発表原稿の執筆要領**

色川 太郎1，彩 華子2，Dorothy N. Spectra3

1日本色彩大学，2国立色彩科学研究所，3 International Color Science Coterie, USA

**Paper Template for CSAJ Kentai2025 Conference**

Taro Irokawa1, Hanako Irodori2, Dorothy N. Spectra3

1 Nihon Institute of Color Technology, 2 National Institute of Color Science,

3 International Color Science Coterie, USA

Keywords: 日本色彩学会，発表原稿，執筆要領．

**1. はじめに**

　本文書は，日本色彩学会大会における発表原稿執筆の要領について記したものです．この原稿フォーマット（発表原稿のひな型）はMS-Word（.docx）で作成されており，執筆要領に適合したレイアウトがなされています．この原稿フォーマットを利用して原稿をご執筆ください．

**2. 原稿概要**

　発表原稿はMS-Word（.docx）の原稿ファイルと, その原稿をPDF 形式で保存したファイルの，２点を必ずご提出ください．文書の保護オプションやセキュリティ設定（ファイルにパスワードをかける等）は使用しないでください．

　原稿サイズはA4判で作成してください．日本語フォントは，WindowsでもMacでも初期使用可能な游明朝体と游ゴシック体（YuGothic）を使用します．ただし標準的な行間設定では行間が広くなり過ぎてしまうため，この原稿フォーマット4.2節と4.3節の行間設定をご参照ください．

　本原稿フォーマット（発表原稿のひな型）はMS-Word（.docx）のレイアウト設定で，上下余白2.5cm，左右余白2.0 cm，2段組み間隔0.8cmです．これらの設定は変更しないでください．

　原稿は日本語もしくは英語で書いてください．ページ数は1件の発表につき4ページ以内で作成して下さい．段組みレイアウトが1ページ目と2ページ目以降では異なっているので注意してください．原稿で用いるフォントや行間の設定，表題，氏名，所属，図や表のフォーマット詳細については，この原稿の4章をご参照ください．

**3. 原稿の提出締切と提出方法**

**3.1 発表原稿の提出締切**

**【原稿の提出締切】 2025年9月16日 (火)**

　実行委員会から発表原稿の修正依頼があった者のみ，修正稿の再提出期限を下記とします：

**【再提出締切】 2025年10月17日 (金)**

**3.2 発表原稿の提出方法**

　MS-Word（.docx）の原稿ファイル, 原稿をPDF 形式で保存したファイル，図等に関する確認書を大会指定のGoogle Formsから提出してください．

　MS-Word（.docx）原稿のファイル容量は10MB（メガバイト）を超えない様に注意して下さい．もしファイル容量が10MBを超えている場合は，原稿に使用する画像の解像度を下げるか，高圧縮率画像フォーマット（JPEG等）を使用して，ファイル容量を10MB以下に抑えてください．

　Google Formsから原稿を提出すると，自動で返信メールが送付されますのでご確認ください．

**3.3 発表原稿の閲読と著作権等チェック**

　提出された発表原稿は，実行委員会によって，閲読と著作権，剽窃等のチェックがなされます．これらの作業は2025年10月1日までに実施され，発表原稿に問題等がある場合のみ，発表申込者へ修正コメントが返送されます．  
　修正コメントを受け取った発表申込者のみ，

【再提出締切】 2025年10月17日 (金) 必着

で修正稿を再提出してください．なお発表原稿の差し替えには，10月17 日（金）以降は対応できませんのでご注意ください．

**4. 原稿フォーマットの詳細**

**4.1 原稿全体について**

　この原稿フォーマット（発表原稿のひな型）はMS-Word（.docx）で作成されており，執筆要領に適合したレイアウトがなされています．

　発表原稿は４ページ以内に収めてください．

　用紙サイズはA4（21cm✕29.7cm），上下の余白は2.5cm，左右の余白は2.0 cm，2段組みの間隔は0.8cm，段の幅は8.1 cmです．１ページ目には発表題名などを記載する見出しがあるため，段組みレイアウトが１ページ目と２ページ目以降では異なっている点に注意してください．

　フルカラー画像や図表におけるカラーの使用は可能です．ただし見出し，本文，キャプション等の文字色は黒のみとしてください．

　図や表が横長で1段に収まらない場合は，２段ぶち抜きで図や表を掲載することができます．

　提出された原稿は，レイアウトやフォント，図表位置などの調整はせず，そのまま大会予稿集に掲載されますので，各自でMS-Word（.docx）の原稿ファイルとPDFファイルを精査してご提出ください．

**4.2 見出しについて**

　１ページ目に掲載する見出し（発表題名や著者名など）は１段組テキストボックスに配置します．

1. **発表題名（和文）**

游ゴシック，16ポイント，ボールド体，  
行間指定は固定値（間隔は24pt）．

1. **著者名（和文）**

游ゴシックMedium，10.5ポイント，  
著者名末尾に付ける番号は上付き英数字，  
行間指定は固定値（間隔は16pt）．

1. **所属（和文）**

游ゴシックMedium，10.5ポイント，  
所属の冒頭につける番号は上付き英数字，  
行間指定は固定値（間隔は16pt）．  
所属の下は改行をして1行空欄にします．

1. **発表題名（英文）**  
   Arial，16ポイント，ボールド体，単語の一文字目は大文字（冠詞，前置詞，接続詞は大文字にしない，ただし発表題名の冒頭は大文字），行間指定は固定値（間隔は24pt）．
2. **著者名（英文）**  
   Arial，10.5ポイント，姓と名の冒頭は大文字，  
   著者名の末尾に付ける番号は上付き英数字，  
   行間指定は固定値（間隔は16pt）．
3. **所属（英文）**  
   Arial，10.5ポイント，固有名詞冒頭は大文字，  
   所属名の冒頭に付ける番号は上付き英数字，  
   行間指定は固定値（間隔は16pt）．  
   所属の下は改行をして1行空欄にします．
4. **キーワード（和文または英文，５つ以内）**  
   和文は游ゴシックMedium，10.5ポイント，  
   英文はArial，10.5ポイント，頭文字は大文字，  
   冒頭の「Keywords: 」のみArialボールド体，  
   行間指定は固定値（間隔は16pt）．

　和文と英文ではフォントが異なるので注意してください．なお英語で発表原稿を書く場合は，和文の発表題名，著者名，所属は不要です．

　題名，著者名，所属，キーワードが，それぞれ1行以内に収まらない場合は，適宜改行をしてください．

　見出しは，横幅17cmのテキストボックスの中に配置して表示します．テキストボックスの高さ（縦幅）はフレキシブルに変化し，見出しの行数が増えると，自動的に高くなります．

　実行委員会では見出しのレイアウト，フォント，文字ポイント数，行間などは調整しません．提出された原稿の見出しをそのまま使用しますので， 1) ～ 7）の指定を厳守してご記載ください．

**4.3本文について**

　本文の文字フォントは游明朝，10.5ポイント，行間指定は固定値（間隔は16pt）にします．游明朝体はWindowsでもMacでも使用可能なフォントですが，行間を「1行」などの標準的な設定にすると行間が広くなり過ぎます．本文の行間指定は固定値（間隔は16pt）に設定してください．

　本文の冒頭（章，節，副節などの表題の直下）では，1文字文分だけ字下げ（インデント）してください．また読みやすさに配慮し，本文中でも適宜，改行をして段落（パラグラフ）を設けてください．改行後は，改めて1文字分だけ字下げをしてから本文を書きます．

　章，節，副節などの表題（例：**1. はじめに）**は，游ゴシック体，10.5ポイント，ボールド体とします．游ゴシック体（YuGothic）もWindowsとMacで使用可能なフォントです．ただしMS-Wordの標準的な行間設定では行間が広くなり過ぎます．行間は固定値（間隔16pt）を選択してください．

　章，節，副節の表題はインデントをしません．

　章，節，副節の表題の上には1行分の空欄を挿入します．ただし章と節の表題，節と副節の表題などが上下に隣り合う場合，1ページ目の本文冒頭に表題がある場合，2段組の上端に章，節，副節の表題が配置される場合は，表題の上に1行分の空欄は設けないでください．

　章，節，副節の表題には英数字で番号を付けます（游ゴシック体，10.5ポイント，ボールド体）：

* 章の表題例：**3. 実験方法**
* 節の表題例：　**3.1実験協力者**
* 副節の表題例：　**3.1.1 募集方法**

　表題に引き続き本文を配置する場合は，改行してから1文字字下げをして書き始めます．

**4.4 図と表について**

　図や表を配置する位置は，2段組みの幅（8.1 cm）の中であれば，どこに配置しても良いです．横長の図や表を２段ぶち抜き配置する場合は，ページの上端か下端に配置するのが望ましいです．

　図や表は，行間が「固定値」のままでは挿入することができないため，行間は「最小値」を選択して下さい．テキストボックスを挿入し，テキストボックスの中に図，表，文字を配置します．

　表の題名（タイトル）は表の上に配置します．一方，図や画像などの説明（キャプション）は図や画像の下に配置します．和文は游ゴシックMedium，10.5ポイント，英文はArial，10.5ポイント，頭文字は大文字です．和文も英文もボールド体を指定せず，行間設定は固定値（間隔16pt）を選択してください．

　使用する画像は，JPEG形式もしくはPNG形式を推奨します（Bitmap形式は避けてください）．ファイル容量が10MBを超えた場合は，原稿に使用する画像の解像度を下げるか，画像フォーマット（JPEG等）の圧縮率を上げて，ファイル容量を10MB以下に抑えてください．

表1　赤い岩絵具の測色値

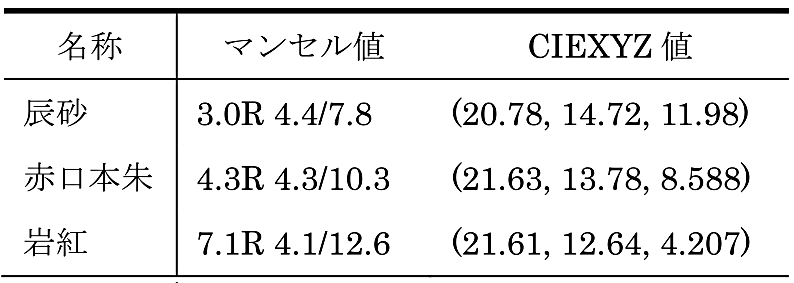




図1　日本色彩学会ロゴマーク

**4.5 引用について**

　他者や他の組織が著作権等を有する写真，図表，文章などを掲載する場合や，他人の顔を撮影した写真などを掲載する場合は，許諾を得るなどして，著作権や肖像権等の侵害に当たらないように注意してください．学術目的での参照や引用であっても、参照先や引用先を明記してください．また許諾を得た場合は，その旨を発表論文の中に明記してください．

**参考文献**

1. Miura, K., Saito, M.: Harmonious Color Model with Fragrances. Color Research and Application, 37(3), 219-232, 2012.
2. Hunt, R. W. G.: The Specification of Color Appearance. I. Concepts and Terms, Color Research and Application, 2(2), 55-68, 1977.
3. 大槻理恵, 富永昌治, 引間理恵: 光学特性に基づいた口紅塗布面の表面分光反射率の推定, 日本色彩学会誌, 35(4), 287-298, 2011.
4. Wyszecki, G., Stiles, W. S.: Color Science: Concepts and Methods, Quantitative Data and Formulae. 2nd ed., John Wiley & Sons, 1982.
5. 日本色彩学会: 新編 色彩科学ハンドブック. 第3版, 東京大学出版会, 2011.
6. 日本色彩学会: 令和7年度研究会大会ホームページ: https://color-science.jp/kentai2025/  
   (参照2025-9-16).